とうなん事けん

★　とうなん事けんの種類（しゅるい）

- 自転車をぬすむ。オートバイをぬすむ。車内の金品をぬすむ。自動はんばい機（き）をあらす。
- ひったくり…　はん人がとつぜんぶつかってきて，かばんなどの持ち物をうばって持って行ってしまう。
- おきびき…　置（お）いていたものを，はん人がちょっとの間に持って行ってしまう。
- あきす　…　るすの間に家にどろぼうが入って金品をぬすんで行ってしまう。
- すり　…　こんざつしている場所で，はん人がさいふなどをぬきとる。

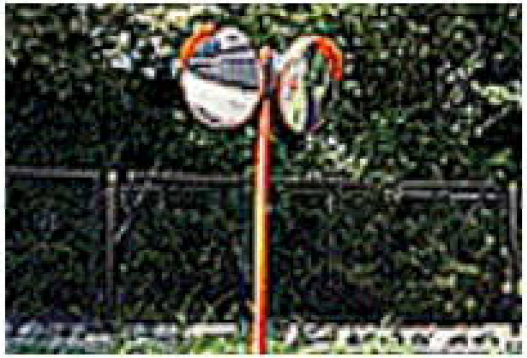
交通事こをふせぐせつび

標しき

信号機

ガードレール

おうだん歩道



カーブミラー

歩道橋

交通事こによる死者とけが人の数

年	死者(人)	けが(人)
1960	12,055	289,156
1965	12,484	425,666
1970	16,765	981,096
1975	10,792	622,467
1980	8,760	598,719
1985	9,261	681,346
1990	11,227	790,295
1995	10,679	922,677
2000	9,066	1,155,697
2004	7,358	1,183,120

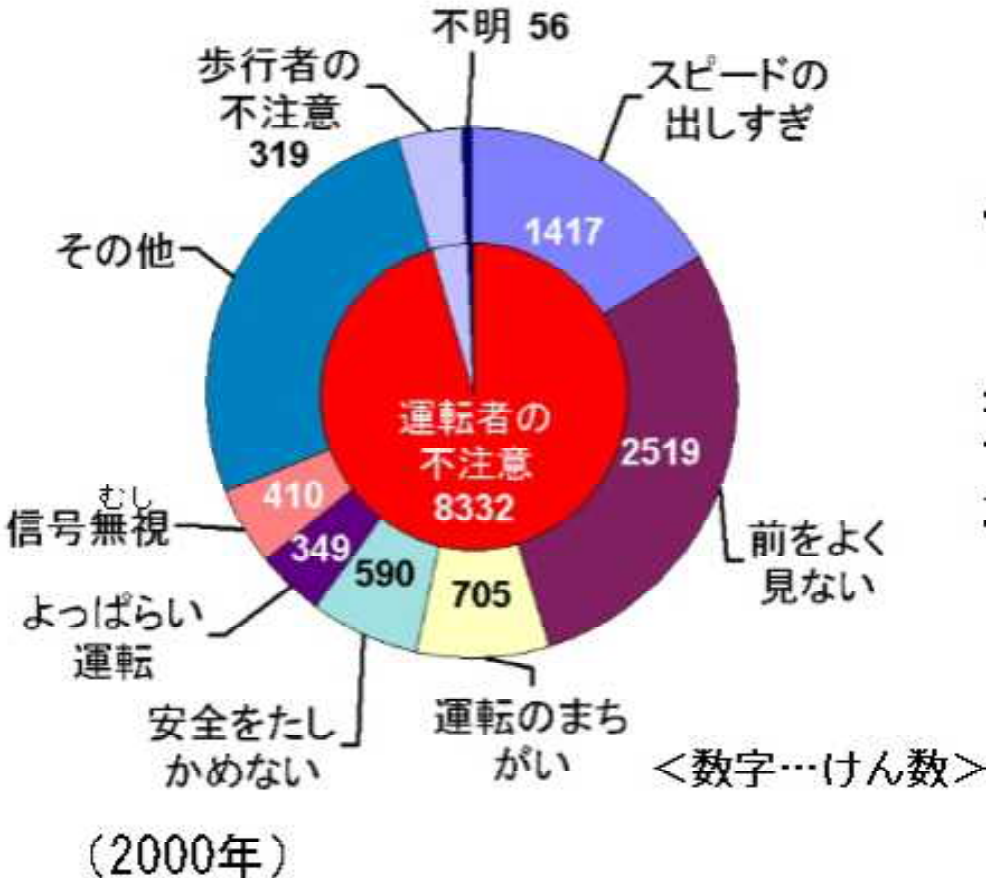
左の表を見てみましょう。

1980年からだんだんとけが人の数がふえています。死者の数はふえたりへったりしていますが，交通事こにあう人はふえつづけています。

2004年の数字から計算すると，毎日，交通事故(じこ)で20人がなくなり3,233人がけがをしていることになる。

＜警察庁(けいさつちょう)調べ＞

交通事この原いん



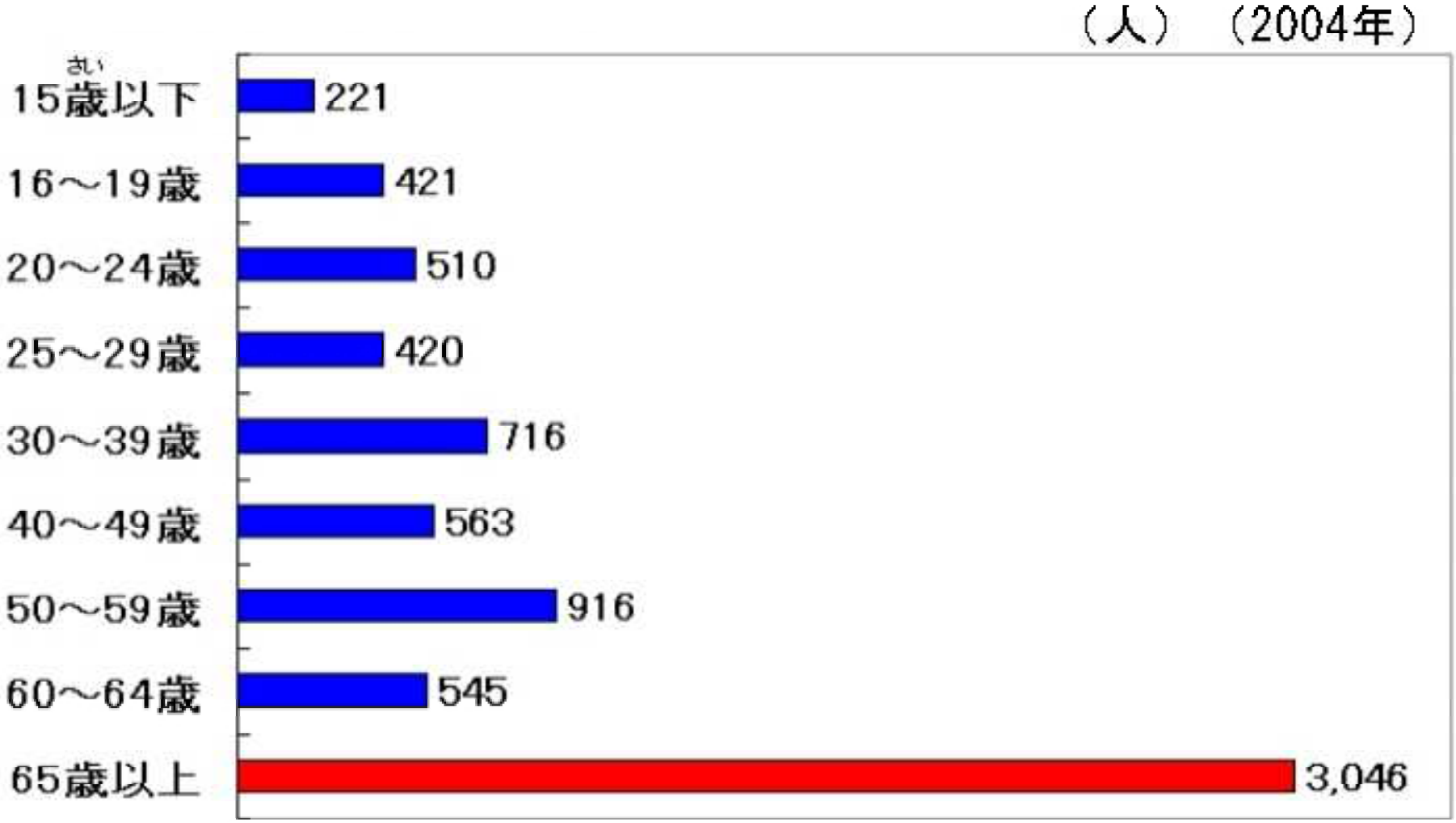
※　左のグラフを見てわかるように，なくなる人が出る交通事この原いんのほとんどは，運転者の不注意です。

　車が多いところなどで歩いたり，自転車に乗ったりするときには，まわりをよく注意するようにしましょう。

＜警察庁調べ＞

年れい別の交通事こによる死者数

- 高齢者（こうれいしや）の死者の数が多い。

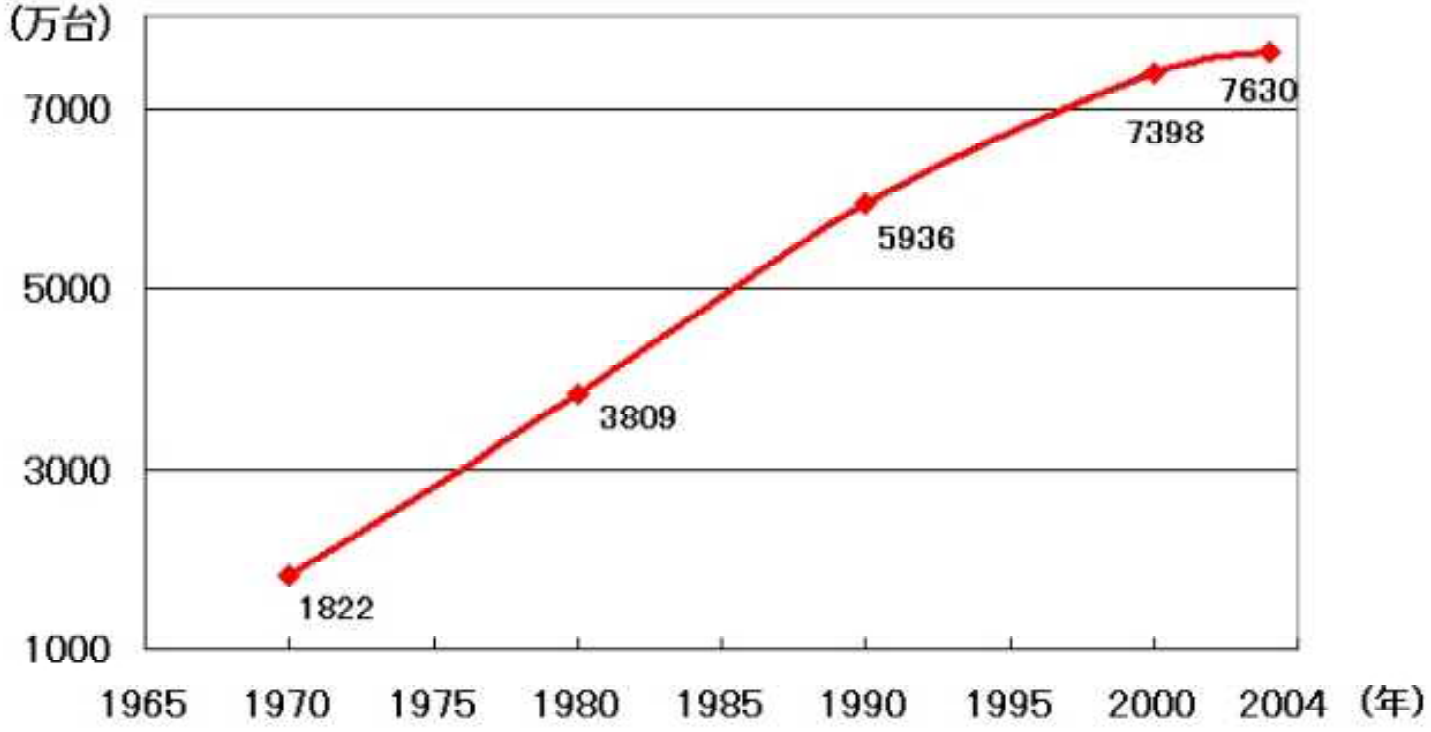


＜警察庁（けいさつちよう）調べ＞

自動車の台数と運転めんきょをもっている人の数

- 自動車の台数も運転めんきょをもっている人もふえている。

① 自動車の台数



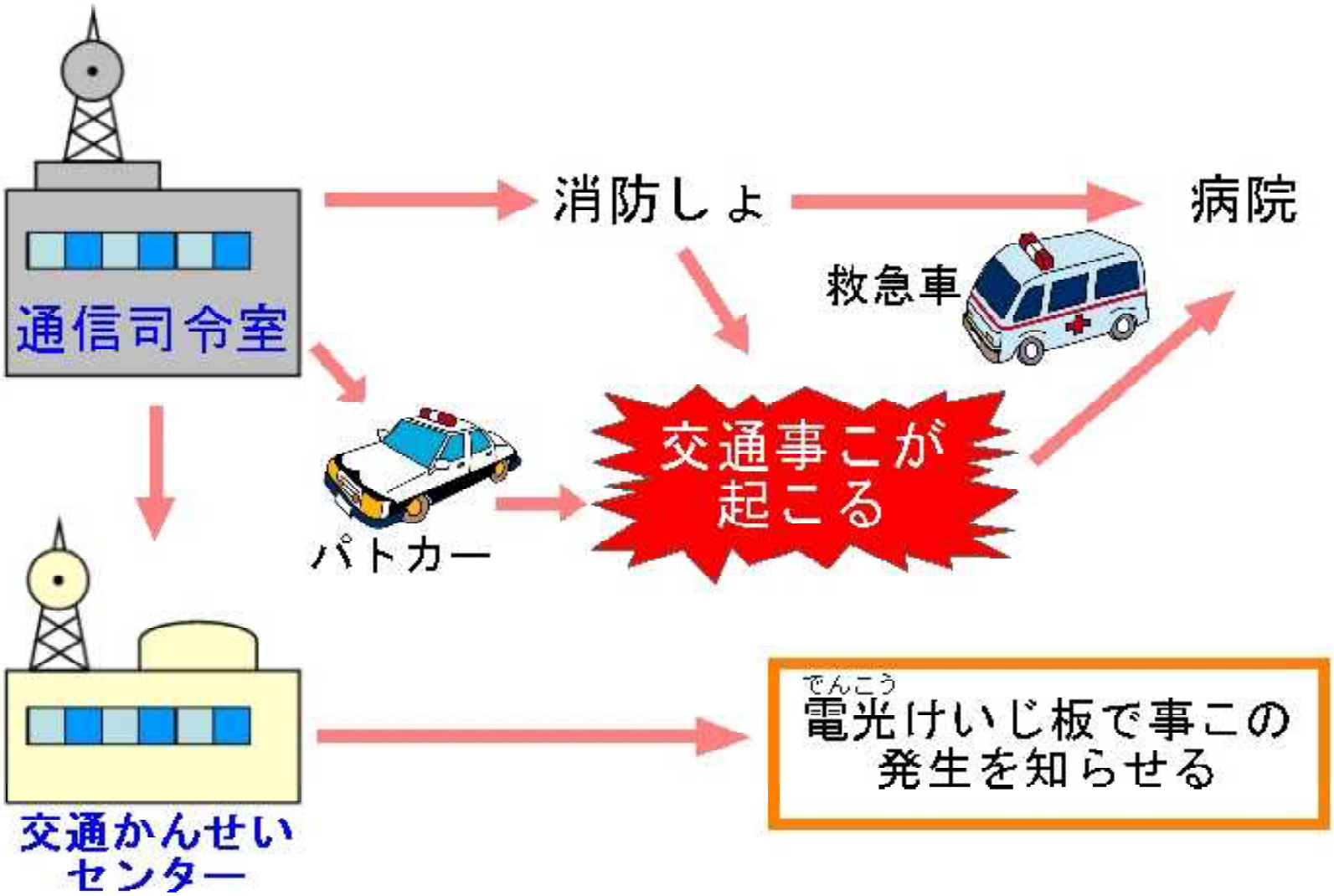
② 運転めんきょをもっている人

1970年…2,645万人　→　2004年…7,825万人

＜国土交通省（こうつうしょう）ほか調べ＞

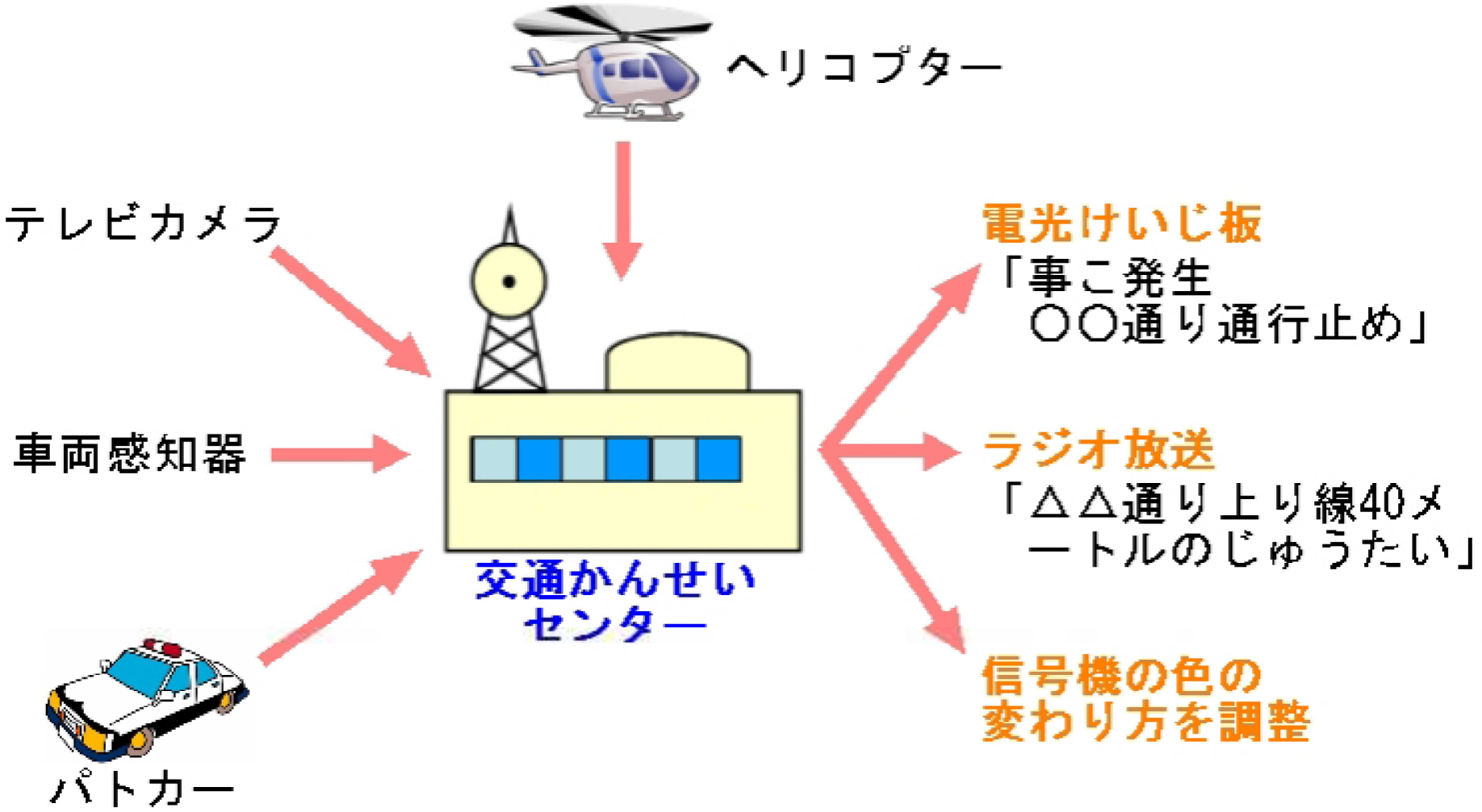
交通事こが起こると

- 交通事こが起こると，通信司令室(つうしんしれいしつ)に110番の電話が入る。



交通かんせいセンターのはたらき

- 交通かんせいセンターは，車の流れをかんししている。



さまざまなさい害

★ 自然さい害

- 地しん（つ波）・火山のふん火
- 風水害…台風，集中ごう雨（こう水，がけくずれ）
- 冷害…北海道と東北地方の太平洋側で多い。
- かん害…瀬戸内地方で多い。
- 雪害…東北地方の日本海側と北陸地方で多い。

★ おもなさい害

- 関東大しんさい(1923年)，伊勢湾台風(1959年)，雲仙普賢岳ふん火(1990年)
- 北海道南西沖大地しん(1993年)
- 阪神・淡路大しんさい(1995年)
- 新潟県中越地しん(2004年)